

児童の自己指導能力を高める支援の工夫 — 中1ギャップの改善を目指す「中活ブック」の 作成と活用を通して —

研究構想図

長期研修員 千木良 昌計

自己指導能力を高め、中学校進学へ自信と希望を手に入れる児童



「中活ブック」の作成と活用

中活ブック(児童用)

総合的な学習の時間において「中活ブック(児童用)」を作成・活用

～目次～

- 第1章 中学校に向けて大切な考え方
～「自己指導能力」「OODAループ」～
- 第2章 中活シート集
～授業で考えたこと・学んだこと～
- 第3章 中活サポーターズからのエール
～たくさんの人からの励ましの言葉～
- 第4章 中活の振り返り・フリースペース

中活ブック(教師用)

「中活ブック(教師用)」を活用した校内研修や授業実践

～目次～

- 第1章 基本編
 - ・自己指導能力と「4つの視点」
 - ・チーム学校における生徒指導体制
- 第2章 実践編
 - ・「4つの視点」を踏まえた総合的な学習の時間における実践例
 - ・中活シート集

始めよう「中活」!中活のポイント

OODAループの活用

O:Observe (自分を)みつめる
O:Orient (目標が)わかる
D:Decide (行動を)きめる
A:Act (実際に)うごく

中学校生活の課題を探究

- ①課題の設定
- ②情報の収集
- ③整理・分析
- ④まとめ・表現

探究

自己指導能力の獲得を支える生徒指導の実践上の「4つの視点」を踏まえた授業

- ①「自己存在感の感受」
- ②「共感的な人間関係の育成」
- ③「自己決定の場の提供」
- ④「安全・安心な風土の醸成」

4つの視点

「中活」を支える「中活サポーターズ」

友達・中学生・保護者
担任・養護教諭・校長・中学校教員
教育委員会・適応指導教室指導員
スクールカウンセラー

【児童の実態】

- ・中学校進学後、学校生活に馴染めず、別室登校増加。
- ・中学校進学への見通しがもてず、不安がある。

【国・県の動向・課題】

- ・「自己指導能力の獲得を支える生徒指導の実践上の『4つの視点』」を踏まえた指導の充実。
- ・「発達支持的生徒指導」「チーム学校」の重要性。
- ・不登校児童数の増加。

【教師の願い】

- ・目標や課題に向けて自分の力で解決してほしい。
- ・児童の自己指導能力を高めたい。
- ・安心して中学校に進学してほしい。

中|ギャップの改善を目指す「中活ブック」の作成と活用 実践の様子

中活ブック(児童用)の作成と活用

中学校に進学することはどれくらい不安ですか？

小学校6年生や中学生にとってアンケートから探究課題に合う。中学校進学における様々な課題の解決を目指していく。



S:これから始まる「中活」が楽しみ。
S:中学校進学に向けて自信をもちたい。

「OODAループ」に基づいた思考の整理

OO DA O:Observe (自分を)みつめる



挨拶をされたとき、挨拶を返さない時がときどきあったな。

OO DA O:Orient (目標が)わかる



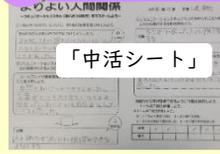
人とすれ違うときには、しっかり挨拶できるようにしたいな。

OO DA D:Decide (行動を)きめる



「廊下で会った人に挨拶をする！」に決めて、やってみよう。

OO DA A:Act (実際に)うごく



「中活シート」
1週間決めた行動をしっかりと実行できたぞ。



単元ごとに自己指導能力を高めることができたので、「決断力」と「実行力」が身に付いてきました。この学習をして、中学生に向けて自信と希望を手に入れたと思います。

校内研修
探究 スタート

自信と希望を手に入れよう！
始めよう中活！

中学校ってどんなところ？

よりよい人間関係

ストレスの対処

よりよい生活習慣

思春期の変化

未来の自分

「中活ブック」の表紙をデザインしよう！

「中活ブック」を完成させよう！

中活ブック(教師用)の活用



「中活ブック」の活用の仕方について共通理解を図る。また、校内研修で学んだことを実践の授業公開で具体的にイメージする。

T:低学年でも、実践できる内容を積極的に取り組んでいきたい。

「4つの視点」を踏まえた授業展開

4つの視点 「安全・安心な風土の醸成」～アイスブレイク～



アイスブレイクをすることでクラスの雰囲気がよくなるように配慮した。

4つの視点 中サポ 「自己存在感の感受」～励ましや助言～



適応指導教室の指導員との事前打合せを基に、指導員が子供たちに励ましや助言をした。

4つの視点 「共感的な人間関係の育成」～児童主体の時間～



挨拶のロールプレイを行い、児童同士の関わりの時間を確保するように配慮した。

4つの視点 「自己決定の場の提供」～行動を決める～



児童が実際に行動する事柄を具体的に決められるように十分な時間を設けるように配慮した。

現在、児童は中学入学に対する期待は大きい。入学後に、この大きさと現実にギャップを感じる児童もいるのかもしれない。そこで、中活で学んだことが生きてくるのだと思う。事前に対策をとっていくことができたという所に、大きな意味をもつ学習であったと思う。
(担任へのアンケートより抜粋)

成果

「中活ブック(児童用&教師用)」の作成と活用をすることで、児童一人一人の決断、実行する力が身に付き、自己指導能力を高めるとともに中学校進学への自信と希望につながった。

課題

児童の自己指導能力を更に高めるために、「中活」を年間指導計画に位置付けたり、学校行事と関連させたりし、6学年だけでなく各学年に応じて計画的に一年を通して取り組めるように工夫していく必要がある。

提言

「中活ブック(児童用&教師用)」を、自己指導能力を高める支援のヒントとし、学校の実態に応じて、学校生活や各授業において自己指導能力を高める支援の工夫を繰り返し行い、児童の自己指導能力を高めていきましょう。